

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている			
	やや良く なっている	住宅販売会社 （従業員）	来客数の動き	・展示場の来場者数が増加しており、具体的な商談も増えている。
	変わらない	コンビニ（店 長）	販売量の動き	・販売量、単価ともに対前年同月比で同じ幅のマイナスが続いている。
		家電量販店（営 業担当）	単価の動き	・ここ2か月は、固定客によるテレビなど高額商品の買い換え需要があったため、単価が戻りつつある。しかし、全体的には台数の動きが悪いため、売上が伸びていない。
		乗用車販売店 （従業員）	お客様の様子	・特に年始は客の動きが鈍く、購入するまでに非常に時間がかかっており、景気の底打ちが続いている。
		旅行代理店（従 業員）	来客数の動き	・ビジネスや大学受験等の航空券購入、春休みの旅行相談、高速バスチケットの購入など、来客数はあまり変わらない。また、売上も大きな変化はない。
		タクシー運転手	お客様の様子	・1人乗りの客が多く、3人や4人のグループ客が減っている。お客様の様子から、街に出かける頻度が少ない状況が続いている。
		通信会社（営業 担当）	販売量の動き	・販売量、解約件数とも先月と同様の動きである。
		設計事務所（職 員）	競争相手の様子	・受注量にあまり変化がなく、また、競争相手の様子もほとんど変わっていない。
	やや悪く なっている	一般小売店〔書 籍〕（営業担 当）	販売量の動き	・仕事帰り客の来店頻度はあまり変わらないが、販売量の動きが良くない。特に、夜の売上が大きく落ち込んでいる。
		一般小売店〔菓 子〕（販売担 当）	来客数の動き	・土産や年始挨拶の利用客が大きく落ち込んでいる。
		百貨店（売場主 任）	販売量の動き	・特に冬用スーツの動きが悪い。コートを含め、冬物商品は非常に苦戦している。
		百貨店（営業担 当）	それ以外	・前年よりも来客数はプラスで推移しているが、売上が若干下回り、客単価も若干低下している。紳士用品、リビング用品は、前月に続き苦戦している。ブランド商品は、個別では好不調が見られるが、トータルでは若干増加している。
		スーパー（店 長）	販売量の動き	・販売量は1ポイント増加しているものの、単価が回復していないため、売上が0.5ポイント減少している。
		スーパー（営業 担当）	販売量の動き	・1月前半までは売上が前年を上回っていたが、その後の落ち込みが大きく、営業時間の延長をしなければ、それを補うことができていない。
		衣料品専門店 （経営者）	お客様の様子	・購入態度は非常に慎重で、特に高い商品についてはしっかりと見てから購入するようになってきている。バーゲンで相当値段を下げても、品物が良くなければ買わないという状況である。
		家電量販店（店 長）	来客数の動き	・来客数が対前年比95%前後で推移している。単価は上がっているが、来客数が少ないため、売上が計画を下回っている。
		家電量販店（店 長）	単価の動き	・冷蔵庫や大型テレビなど大型商品の単価が非常に厳しく、また、販売台数も伸び悩んでいる。
		乗用車販売店 （管理担当）	販売量の動き	・新車種は売れているが、他の車種がそれ以上に減少しているため、販売台数が前年よりも少ない。
	タクシー運転手	お客様の様子	・例年よりも気温が低かったけれども、タクシーの利用者は期待していたほど増えていない。夜の町に言え、客がほとんど出ていない。また、ホステスさんの話によると、繁華街で店を閉めるところが2月に80軒も予定されており、ますます悪い状況になっている。	
その他住宅〔不 動産〕（経営 者）	お客様の様子	・例年、1月は閑散期であるが、今年は特に暇である。売り希望、買い希望の新規注文が極端に少なく、売買契約の締結が出来なかった。		
悪く なっている	一般小売店〔生 花〕（経営者）	販売量の動き	・需要がかなり落ち込んでいる。例年ならば、会社の開所式や初出社などで花の需要があるが、今年は非常に出だしが悪く、来客数もかなり落ち込んでいる。	

		一般小売店〔酒類〕（経営者）	販売量の動き	・年が明けてから業務店の動きが悪くなっており、個人消費も引き続き厳しい。
		一般小売店〔乾物〕（店員）	販売量の動き	・客単価、来客数とも低調であり、とにかく売上が非常に悪い。同業者ではかなり困っているところもあり、3月決算を越せないところもある。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数の対前年比も過去最悪の状況である。まだまだ進みそうである。
		スナック（経営者）	お客様の様子	・ボーナスの可処分所得が早くも底をついているようである。
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	-	-	-
	変わらない	繊維工業（経営者）	取引先の様子	・相変わらず店頭での動きがあまり良くない。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・企業努力により一定の受注量はあるが、同業者の動向や単価等から判断すると、決して景気は上向いていない。
	やや悪くなっている	食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・新商品の売行きがあまり良くなく、売上が伸びていない。また、デフレの影響から利益が取れていない。
		化学工業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・全般的に需要が低迷傾向にあり、価格見直しの要請も多くなっている。また、発注ロットが小さくなっていることから生産コストが上昇しており、利益率も低下傾向にある。
		建設業（総務担当）	それ以外	・見積件数はある程度あるが、数社が見積を出す相見積がほとんどであるため、実際の成約に至らない案件が増加している。
		輸送業（配車担当）	取引先の様子	・極端に景気が悪くなっているということではないが、客の節約意識が非常に強くなっている。例えば、個数契約の企業先では、2～3個の荷物を1個に梱包するとか、ケースを大きくして個数を減らすなど、輸送経費の節約に努めている。
		輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・荷主の出荷ロットが減少傾向にある。
		広告代理店（経営者）	取引先の様子	・冬物のバーゲンセール中であるが、一部の高級ブランド店を除けば、昨年以上に低調である。どの世代も消費マインドが冷え切っており、バーゲンセールといっても動きが鈍い。
	悪くなっている	家具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年、正月明けは荷動きが悪いが、今年は特に一戸建ての新築需要の落ち込みが大きく、受注量が大幅に減少している。
		公認会計士	取引先の様子	・1月末、あるいは3月末で店舗を閉鎖する取引先が増えている。また、他の取引先においても資金繰りが厳しくなってきた。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	-	-	-
	変わらない	民間職業紹介機関（所長）	周辺企業の様子	・採用意欲が低下したままである。
	やや悪くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人数が16か月連続で対前年同月比マイナスとなっている。新規求人は、製造業と建設業で対前年同月比マイナスが続いている。卸・小売り、飲食店、サービス業ではプラスに転じたが、パート求人の増加がその要因となっている。
		職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・求人内容を見ると、企業は人件費を抑えるため、正社員を減らしてパート社員や契約社員を増やしている。
	悪くなっている	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・年度末に向けて派遣の依頼が増える時期であるが、今年は依頼件数が前年よりも少ない。また、これまで定期的に派遣を利用していた企業からの依頼も少なくなっている。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・新聞の求人広告を募集しているが、求人広告の依頼が集まるのは週に1日ぐらいであり、全くない日もある。	